

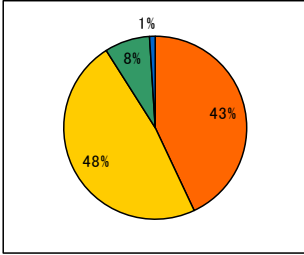
### 学校評価について（お知らせ）

寒冷の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素から本校教育の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り、深く感謝しております。

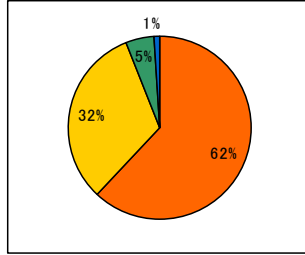
さて、先日「学校評価アンケート」をお願いいたしましたところ、ご多用の中をたくさんの方々からご回答をいただきましてありがとうございました。集計ができましたので、お知らせいたします。

### 令和元年度 学校評価（保護者アンケート）集計結果

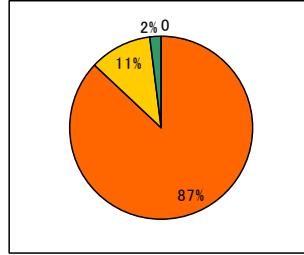
1 子どもは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。



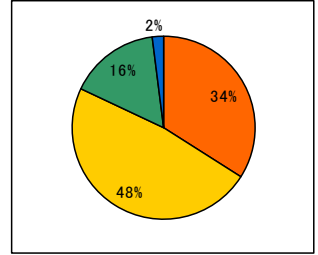
2 子どもは、喜んで学校に通っている。



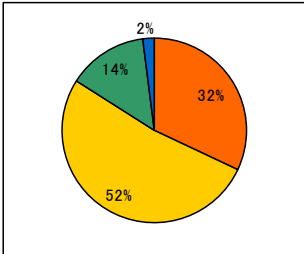
3 子どもは、運動会、遠足、学芸会等の行事を楽しみにしている。



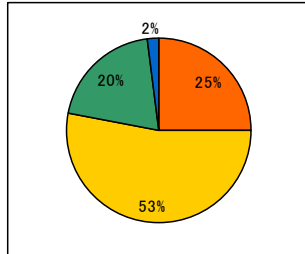
4 子どもは、あいさつや返事がよくできている。



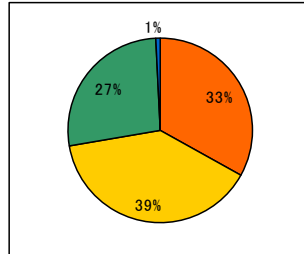
5 子どもは、注意や指導等、話をしっかりと聞き、落ち着いた生活ができている。



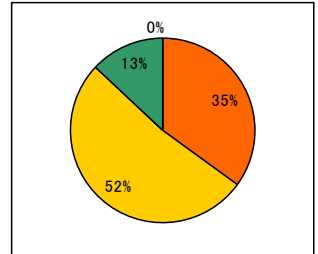
6 子どもは、場にふさわしい言葉づかいや行いができている。



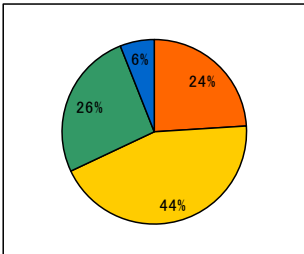
7 子どもは、思いやりをもって下級生や友達に接している。



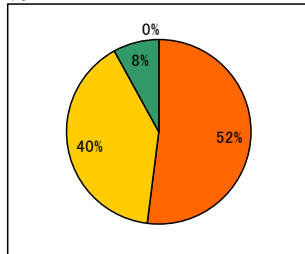
8 子どもは、語彙を増やし、豊かな心を育むことができている。



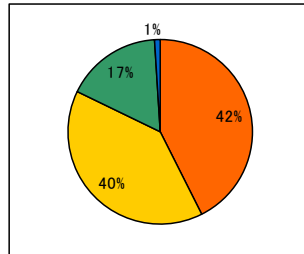
9 子どもに、家庭学習の習慣が身についている。



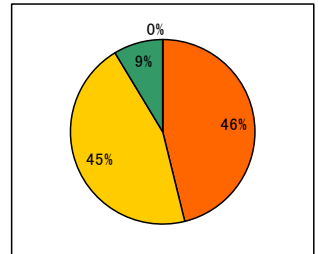
10 子どもは、学校や地域でのくらしにおいて、マナーやきまりを守り、行動している。



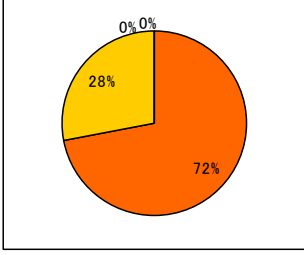
11 子どもは、しっかりと運動し、体力をつけている。



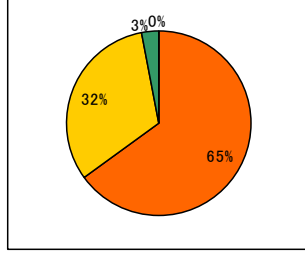
12 学校は、教育方針や学校生活の様子、懇談や学校便り等でよく分かるように知らせている。



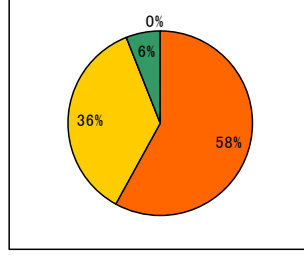
13 学校は、いじめ防止に努めるとともに、一人一人を大切に、悩みや相談にすばやく適切に対応している。



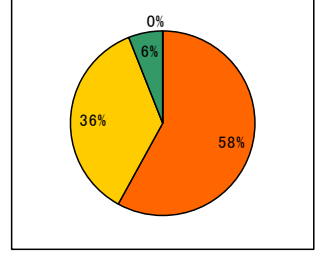
14 学校は、保護者が、授業参観など、子どもの様子をよく分かる機会を設けている。



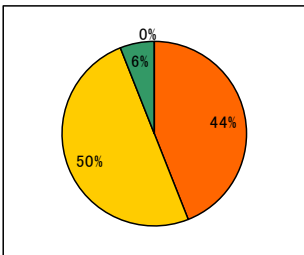
15 学校は、子どもたちの健康や安全に注意をはらい、指導や対応を適切に行っている。



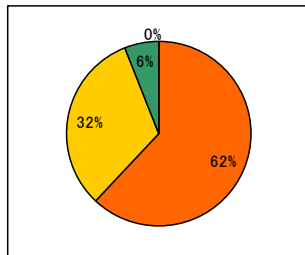
16 学校は、施設・設備の整備や環境美化に努めている。



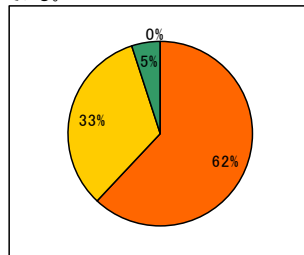
17 学校は、地域のよさを生かす取り組みや、特色のある教育活動を行っている。



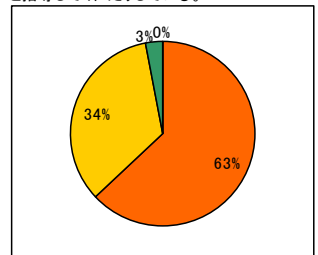
18 先生は、楽しく分かりやすい授業を工夫し、確かな学力をつけようとしている。



19 先生は、児童とのふれあいを大切に、いろいろな方法で子どもをよく理解しようと努めている。



20 先生は、子どものよいところを認めしっかりとほめてくれたり、改めるべきところはきちんと指導してくれたりしている。



〈自由記述（どんな子どもに育てほしいか）複数回答可〉

主なもの

優しく思いやりのある子ども	(81人)
何事にも挑戦し、最後までがんばる子ども	(25人)
自分の考えがきちんと見え、行動できる子ども	(18人)
明るく素直で、あいさつがよくできる子ども	(16人)
自分のことを大切にできる子ども	(9人)

## アンケート結果から見えること

アンケート結果からは、ほとんどの項目において「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が80%を超え、子どもたちの学校生活に安定感がうかがえます。

### 成果

特に項目3「子どもは、運動会、遠足、学芸会等の行事を楽しみにしている。」では、「よくあてはまる」が87%となっており、行事を節目に子どもたちが大きく成長していることにつながっています。

また、項目1「子どもは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。」項目2「子どもは喜んで学校に通っている。」についても、前年度の結果よりさらに上昇しています。

以前から評価の低かった項目4「子どもは、あいさつや返事がよくできる。」項目5「子どもは、注意や指導等しっかりと聞き、落ち着いた生活ができています。」については、前年度同様に、改善傾向にあります。

これらの結果を見ても、子どもたちは楽しく落ち着いて学校生活を送っていることがうかがえます。今後一層、楽しく分かりやすい授業づくりに力を入れ、子どもたち一人一人のよさやがんばりを大切にした取り組みを心がけていきたいです。

### 課題

項目7「子どもは、思いやりをもって下級生や友達に接している。」の結果では、「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の回答が、前年度より約20%も増えていました。今後一層、ふれあいを大切にした縦割りやペア学年での交流や、クラスでの活動に力を入れながら、思いやりの心を育てていきたいです。この項目は、自由記述からも分かるように、保護者の皆様の多くの方が、望まれている子どもの姿でもありました。

項目6「子どもは、場にふさわしい言葉づかいや行いができている。」項目8「子どもは、語彙を増やし、豊かな心を育むことができている。」の結果でも、「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の回答が13～20%となっています。時と場に応じた適切な言葉づかいや自分の思いを表現する力は、人との関わり合いにおいても大切になってきます。子どもたちが互いを思いやり、よりよい友達関係を築くためにも、今後も力を入れて取り組んでいきたい項目一つです。

項目9「子どもに、家庭学習の習慣が身についている。」については、「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の合計が32%となり、前年度に引き続き、力を入れていかなければならない課題です。

学力を向上させるためには、学習したことを復習し、定着を図らなければなりません。家庭学習で、その日に習ったことをもとに繰り返し練習したり、もう一度自分なりにノートにまとめたりすることで、学習したことをより確実に身につけることができます。家庭学習の習慣づけができるように、学校と家庭が手を取り合ってさらにがんばっていきたいです。

貴重なご意見や温かい励ましのお言葉など、ありがとうございました。今後の指導に生かしていきます。

保護者の皆様におかれましては、今後も何かお気づきの点があれば、遠慮なくご相談ください。また、本校の教育推進につきまして、これまでと変わらぬご理解ご協力のほど、よろしく願います。